



まちのシンボル「ひと・まち・ゆめ」

わが町

志津南

NEWS

志津南ホームページ
http://waka-kusa.net/

発行
志津南地区自治連合会

連絡先
志津南市民センター (563-6206)

ごみ分別収集で戸惑い

未回収増え当番困惑 区分変更、細分化徹底せず

10月1日からごみ収集の分別区分が一部変更になりました。今回の変更は、最終処分地の許容能力に限りがあることから、さらなる減量化・資源化を推進するためになされたものです。しかし、それが徹底されず、ごみ集積所には収集されなかったごみが残され、ごみ当番の方が困っています。

【1】以前のままの分別区分に
【2】使用しているごみ袋が中身と異なっている。
【3】当日の収集ごみと異なる種類のごみが出されている。
【4】「プラスチック製容器類」は新たに「焼却ごみ類」「破碎ごみ類」「プラスチック製容器類」の三種類に分けられました。硬質プラスチック製品は「破碎ごみ類」に該当します。残りは「焼却ごみ類」になるのですが、その中でも「プラマーク」が付いている

「類」に分けられました。古紙類はリサイクルできるからです。さらに「古紙類」は「新聞・広告」「雑誌・雑紙」「段ボール」の三種類に分けられ、収集日がそれぞれ異なっています。
【2】について
例えば、焼却ごみ類をペットボトル類の指定袋に入れているような場合です。この場合は、焼却ごみ類の収集日であっても収集されません。三種類の指定袋は中身と一致していなければならぬのです。
【3】について
例えば、同じ古紙類でも三種類の区分によって収集日が異なりますから、新聞・広告の収集

日には段ボールは収集されずに残されます。
この古紙類については、子ども会が廃品回収活動を行っていますので「別項参照」、これを利用してすることをお勧めします。地域によって第一・第三日曜日または第二・第四日曜日となりますが、古紙三種類とも同じ日に、かつ古着類も回収されます。しかも、ごみ集積所まで持って行く必要がなく、自宅の門の脇に出しておくだけです。ぜひ活用して下さい。
ごみの細分化は面倒なことに違いありませんが、環境面からも私たち一人ひとりがリサイクル資源化でごみを減らすように努めていくべきだと思います。

子ども会資源回収
月に2回行われている子ども会の資源回収が10月23日、6丁目、岡本西、グリーンピアで行われました。写真。子ども20人、大人15人が手分けして各家庭の玄関先からゴミステーションまで新聞や段ボールを、かえたりカートを押したりしながら運びました。秋とはいえ暑い日で、腕まくりをしながらお互いに協力してがんばりました。

出す前に分類表でごみ袋と中身の確認を

プラスチック製容器類 マークが付いているものが対象です。

これらのものをまとめて、指定ごみ袋に入れてください。

- 袋類
- ネット類
- バック・カップ類
- プラスチックボトル類
- キャップ・ふた類
- フィルム・ラベル類
- トレイ類
- 緩衝材

「プラスチック製容器類」として出すことになります。ですから、「プラスチック製容器類」はかなり限定されています。(上図参照)
②「普通ごみ類」は「焼却ごみ類」と「古紙類」に分けられました。古紙類はリサイクルできるからです。さらに「古紙類」は「新聞・広告」「雑誌・雑紙」「段ボール」の三種類に分けられ、収集日がそれぞれ異なっています。



懸案の炭窯遺構撤去

志津南市民センター駐車場北側空き地に保管されていた野路小野山製鉄遺跡関連炭窯遺構(鉄板に囲まれた部分)の撤去作業が今月から始まりました。

この土地は、飛鳥都市開発が開発時警察用地として県に無償で寄付したのですが、警察施

設整備が進まない中、暫定利用として遺構の保管場所となり現在に至っているものです。

撤去後の跡地利用については、所有者の県といるいと協議が必要となってきますが、草津市は有効利用が図れるよう検討を進めています。

撤去作業は12月中には完了する予定です。



消火訓練に140人参加 大震災思い高い関心示す

バケツリレーで水を運ぶ子どもたち



志津南地区自治連合会（中原勝一会長、自主防災連絡会（齊藤智久会長）は10月16日、若草中央児童公園で若草1丁目〜8丁目、岡本町西の全町あびでの志津南地区合同消火訓練を実施しました。

朝まで続いた雨も上がり、さわやかな秋空の下、町内防災担当者のほか、住民、子ども会の協力などにより、前回は大きく上回る約140人が参加、防災に対する関心の深さをうかがわれました。

中原会長が「大震災を教訓に実践を重ねることが大切」とあいさつ。続いて南消防署員が「心づいても知識を身につけて、いざと言ったときに役立てて欲しい」と訴えました。

最初に家庭用消火器の使い方

の説明があったあと、住民参加で消火器の実地訓練を実施。ちびっ子も参加して、標的に向けて放水を行いました。続いて消火栓による消火訓練。参加した住民は、悪戦苦闘の連続でしたが、訓練を終えた人たちの顔は、みんな自信を持った表情に変わっていました。

各町内に常備してあるへ災害救助用工具セットの説明では、ほとんどの人から「見たことない」「知らなかった」の声が聞こえ、全員が興味深く聞き入っていました。

入っていました。

後半は、子どもたちにも防火、防災に関心を持ってもらうと、前回行った「防災ゲーム」を今年も開催。自主防災連絡会のメンバーが知恵を出し合い、朝早くから準備した競技に、子どもたちは大喜び、大人気でした。

今回は訓練中に消防車が緊急出動要請を受け、サイレンを鳴らして現場に向かったり、防災関係者の目が行き届かず、子どもが立ち入り、やむなく放水訓練を中止、消防署からきつい注意も受けました。

予想外のことが起こりましたが、全員が「真剣に取り組みねば」と気持ちを新たにしました。

滋賀教育の日「学校公開」

劇上演や粘土細工など多彩



教育講演に耳を傾けるPTA会員ら

「滋賀教育の日」志津南小プログラムが10月17日から21日までの5日間、志津南小学校で開催されました。

「みんなで育てよう志津南の子ども」をテーマに例年行われている学校公開です。保護者や地域に学校を公開し、学校の取り組みの現状を知ってもらおうとともに、子どもたちが互いに認め合い豊かな心を育てることをねらいとしています。

まず、プレイベントとし

て17日に劇団たんぽぽによる「100万回生きたねこ」が体育館で上演され、4年生の子どもたち数人も出演しました。

1年生は笛奏者の坂井孝之氏を迎えて「すてきな笛の音色とともに」、2年生は手話サークルびわ湖の皆さんを迎えて「手話でつながろう」、つくしたけのこ学級は県立陶芸の森の橋功一郎氏を迎えて「わたしの造形活動が行いました」。

3年生は学校栄養士さんを迎えて「食べ物の働きを知ろう」ということで食育の学習、5年生はユニバーサルデザイン出前講座と、自分たちで育て収穫し

5年生がおにぎり訪問

志津南小学校5年生が農家の田んぼで5月に田植え、秋に稲刈りをしたお米を使いお年寄りにも届けようと10月20日、収穫祭を行いました。

この日は5年生52人が調理室で健康推進委員の指導を受けながら、「炊き込みご飯」と「白米」を炊き上げておにぎりをつくりました。

このあと、3班に分かれた児童たちはプレゼント用の「おにぎり」を入れたバックに「これから寒くなりますがお身体に気をつけてお過ごしください」と書いたメッセージカードを付

たお米でおにぎりをつくり、健康推進委員さんと民生委員児童委員さんの協力を得て地域のお年寄りに配りました。

このほか、PTA会員と教職員に向け、ホリスティック実践研究所の金香百合氏を迎えて『教育講演会』がありました。「幸せな子育て自分育てのためのヒント」と題した、ユーモアも交えたお話しは、改めて子育てについて考えるよい機会になりました。

保護者だけでなく、地域のみなさんにも子どもたちの学習風景と発表の姿をみていただけた有意義なプログラムでした。

け、民生委員・児童委員と一緒にひとり暮らしの高齢者宅へ向かいました。

少し緊張気味の児童たちは笑顔



高齢者宅を訪問する児童たち

顔で迎えられるとハキハキと「5月に田植えをして収穫したお米でおにぎりを作りました。どうぞ食べてください」「元気でお過ごしください」と手渡すと「今年も来てくれてありがとう」となごやかに言葉が交わされました。

訪問後に高齢者の方から「モズないて登校の児等あおき見る」と俳句をえた葉書が小学校へ届けられました。

(民児協)

健推がウォーキング

志津南地区健康推進連絡協議会（蟹江久美子代表）は10月27日、「はつらつウォーキング」を実施、23人が秋のハイキングを楽しまました。

雲ひとつない秋空のもと、午前10時30分、びわこ文化ゾーンを目標し市民センターを出発、松ヶ丘経由で約1時間後に到着。

昼食は健推が用意したおにぎりとバナナでお腹を満たし三々五々辺りを散策しました。紅葉にはまだ少し早かったものの、秋の涼風を肌感じたひと時でした。

これからはウォーキングに最適な季節です。みなさんも頑張っ歩いてみてはいかがでしょう。今回は約10キロ、歩数計は1万6千歩ほどでした。

こよみ

- 11月16日(水)
 - ★パソコン講座①
10:00～12:00
 - ★やすらぎ学級
13:30～17:00
 - 11月17日(木)
 - ★パソコン講座②③
10:00～15:00
 - 11月18日(金)
 - ★公民館一斉清掃と消防訓練
9:00～12:00
 - ☆ふれあいバスツアー
10:30～16:30
 - 11月19日(土)
 - ☆健康ウォーキング
8:45 若草中央公園集合
 - 11月22日(火)
 - ★地域サロン: 懐メロを歌う会
10:00～11:30
 - 11月26日(土)
 - ☆社会奉仕
8:30 若草中央公園集合
 - 11月29日(火)～30日(水)
 - ★つどい推進事業・みんなの作品展
29日10:00～30日12:00
 - 12月2日(金)
 - ★ふれあい昼食会
12:00～13:00 ボランティア「泉」
 - 12月3日(土)
 - ☆健康ウォーキング
8:45 若草中央公園集合
 - 12月13日(火)
 - ★地域サロン: 懐メロを歌う会
10:00～11:30
-
- 毎週金曜日
 - ☆ふれあい喫茶(お茶の間)
10:00～12:00
若草第五集会所
 - ★印の会場は志津南市民センター(公民館)です

感謝と思いやり再認識 社協の平和祈念講演会



志津南地区社会福祉協議会(小野栄祐会長)は10月22日、志津南市民センターで平和祈念講演会を開催し写真、100人を超える地域住民が参加しました。

今回は前志津南小学校校長の馬場豊さんを講師に迎え「絵本でつなぐ命と愛」と題して絵本を読みながら命と愛情のつなが

り、大切さを学びました。馬場さんは最初に、絵本「ももの子たろう」を取り上げ、老夫婦が突然の授かりものの赤ちゃんに生命の誕生を喜び、ももの子たろうと名付け、慈しみて育て、自分たちの分まで食べさせる強い愛情が汲み取れ、これは命と愛のはじまりと訴えました。

また「ぼくのいもうと」では「妹との日常行動で世の中に自分と違う人がいることに気づき、違っても愛情を注ぐ」という家族愛のはじまり」とし、「しゅくたい」では家族がそれぞれ忙しい中で、学校の宿題としての「だっこにちょっとわくわくする子ども心、夕ご飯の後宿題の話をすると、おかあさん、おとうさん、おばあちゃん

にやさしくきゅつとだっこされ、家族愛がさらに強固になる。社会と家族のつながりののはじまり」と強調しました。

講演に花添えお茶会



平和祈念講演会に合わせてボランティアグループ泉(藤田清子代表)がロビーで恒例のふれあいお茶会を開きました。写真。

ロビーにはスタッフ宅の庭に咲くアジリス、コスモス、ム

ラサキシキブなどを添え秋を演出。水屋ではこれまたスタッフ手づくりのお茶碗やお菓子も用意、和室では茶席を設けお点前でお客を迎えました。

講演を聞き終えた方々、親子連れが大勢立ち寄り、和室もロビーも一服のお茶で和やかな交流風景が見られました。

若寿会が傘寿祝う

毎年傘寿(80歳)を迎えた会員に祝いの品を贈っている志津南地区老人クラブ若寿会(奥田隆三会長)は今年も10月17日、80歳を迎えた六丁目の松原繁男さん、一丁目の野田英子さん、渡田和子さんの3人に奥田会長が記念品を贈りました。

「これからも健康に留意し頑張ってください」と声をかけられた3人は「まだまだ気持ち若く持つて元気に頑張ります。」と力強く応えていました。

広々とした風穴を探検する南っ子



「鍾乳洞」テーマに館外研修

わんぱくプラザ南っ子実行委員会は10月15日、「鍾乳洞の不思議」をテーマに、「河内の風穴(多賀町)」と「関が原鍾乳洞(関ヶ原町)」を訪ね館外研修を行いました。

バスを降り、徒歩10分ほどで風穴の入口に到着。

この風穴は霊仙山塊のカルス

ト地帯に発生した鍾乳洞風穴で、年中12度の温度を保っています。洞内の狭い道を歩いて行くと、突然私たちの目の前に大きな空洞が出現し、自然の創造物に一同歓声を上げました。

洞内では、小さな穴を見つけては入り、別の穴から出てくる迷路など、子どもたちは思い思いに風穴内の探検を楽しみました。

午後からの「関が原鍾乳洞」では、鍾乳石の創造物が多く見られ、また、洞内の水路では二ツマスが放流されていて、河内の風穴とは違った鍾乳洞の空間を体験しました。

2か所の鍾乳洞で異なる自然の力の大きさを体験できた館外研修でした。

16日からふれあい文化祭

音楽の祭典として長年親しまれてきました「ふれあいミュージックソン」は、より幅広く多彩なサークルの参加を募り、「志津南ふれあい文化祭」(志津南公民館主催)と名称を変更、11月16日から3日間、志津南市民

センターで開催します。

サークルの作品展示は16日(金)～18日(日)の3日間、17日(土)午前は初の試みとして、体操関係のサークルによる活動発表と体験、午後はステージ発表、夜はダンスパーティーを予定しています。

やすらぎ学級館外研修



やすらぎ学級の館外研修が10月26日行われ、「なほなの里」(桑名市)と「味の素東海工場」(四日市市)を訪れました。「なほなの里」では、ペゴニアやフクシアなどの花々が館内いっぱい飾られたペゴニア館や見頃のコスモスと大輪のダリアなど秋の花々を楽しみました
|| 写真 ||

たあと、みそ湯に味の素を入れる前と後の違いを比べる「うまみ体験」やクラニュー糖と開発された甘味料との比較体験をしました。また、案内の社員から製品についての説明受け、うま味調味料の秘密を知ることができました。秋の花々に和まされ、調味料について認識を新たにできた館外研修でした。

まちかど
アングル

伯母川

黄褐色が支配する秋景色。田んぼの中の小さな堰から落ちる水がきらきら輝いている。上桐生に源を発する伯母川は全長約10き。わが町を抜け、細く長く草津川に寄り添うようにして琵琶湖に流れ込んでいる。若草4丁目あたりではメタカ、ドジョウにギンブナ、カワムツ。見かけによらず生き物が豊富なのだ。おまけに上流ではカワニナも生息。おかげで住宅地の近くにありながらホタルが観察できる。そんな自然を思いながら川沿いを散歩するのもいい。



スキンシップ深める

家庭教育支援講座「親子で仲良く体操」の2回目を市民センターで開催しました。今回は2歳児を中心に18組の親子が参加しました。

お母さん同士もペアになって子どもを持ち上げるプランコや飛行機などの体操では、普段はしない大きな動きに会場は大はしゃぎ。また、抱っこやおんぶをして輪になって走り回るなど、保護者も精一杯体操に加わり、普段にも増した触れ合いの機会となりました。

前回同様、体操の合間には、「好き・好き・大好き」と子どもを抱き締めたり、身振り、手振りを交えながらみんなが動物の童謡なども楽しむなど、愛情表現とスキンシップたっぷりの講座となりました。

体育館に歓声こだま

第26回若草くるみ保育園運動会が10月8日、志津南小学校体育館で行われました。写真は今年「祭・心をひとつに」がテーマ。

「みんなが力を合わせて最後まで力を出しきって」と服部登志夫園長が激励し、開会しました。

ひこにゃん首頭では、ほし組の園児が「ひこにゃん」のかぶ

とをかぶって保護者といっしょに楽しい遊戯で楽しみました。また、年長のサーキットでは、マット上での前転、園児の身長ほどの高さがある跳び箱など難易度が高い競技もあり、それらをクリアする度に会場からは大きな拍手がわきあがっていました。



わらし競争やデカパン競争など保護者もいっしょに参加する競技も多く、親子のふれあいが一層深まった一日となりました。

環境講座募集

志津南市民センターは次の要領で「企業の地球環境保全活動に学ぶ」をテーマに、資源・エネルギーの有効利用や地球温暖化防止に向けた活動を企業ぐるみで行っている京セラ滋賀蒲生・八日市工場を見学し、地球環境について考える講座を開催します。

- ▽日時 12月2日(金)午前9時~午後1時(予定)
- ▽見学先 京セラ滋賀蒲生・八日市工場
- ▽参加費 無料
- ▽定員 先着順30人(草津市在勤・在住者対象)
- ▽集合 午前8時45分志津南市民センター
- ▽申し込み 11月16日(水)~25日(金)の間に志津南市民センターまで(電話・FAXでの申し込み可。定員になり次第締め切ります)
- ▽なお、当日は市民センター工事で駐車場が使用できないため公共交通機関等をご利用願います。また見学先の要望により、参加者の勤務先等を記入いただきます。

みんなの作品展

- 志津南市民センターは高齢者つどい推進事業の一環として開催する「みんなの作品展」の出品作品を募集しています。11月26日まで受け付けます。同展の開催要領は次の通りです。
- ▽日時 11月29日(火)午前10時~30日(水)正午まで
- ▽内容 手作り作品や写真、絵画、家にある珍しいものなど展示
- ▽会場 志津南市民センター 議室